

第3次宣教旅行④ エペソ（3）大騒動

使徒の働き 19:21-41
2017,7,9 HKJCF

概観

序)①み言としるし②弟子訓練と宣教
③サタンとの対決 1) 個人 2) 都市全体

Iパウロの宣教計画 V21-22

IIエペソの大騒動(1) V23-34

IIIエペソの大騒動(2) V35-41

IV結論・適用・祈り

「神様、日本をそして中東の国々が
キリストの福音を受け入れ、聖書的
な地域と再創造されますように」

Iパウロの宣教計画

- 1、マケドニア/アカヤ/エルサレム
- 2、ローマへのビジョン
- 3、エペソ滞在の延長（総仕上げ）

①第3次宣教旅行の中心地 使16:6-10

②アジアの中心的教会 黙1:20-2:1

③福音理解/忍耐/異端と対決 黙2:2-7

⇒①エペソでの福音宣教と迫害はローマ宣教への準備となった②アジアの教会は中東のために祈る使命

IIエペソの大騒動(1)

- 1、異邦人社会での本格的迫害
- 2、異邦人にはユダヤ教とキリスト教の区別が不明確 使18:1-4

⇒①エペソでの予期しない大騒動は異邦人社会の基本的価値観との全面的対決の結果②パウロの意図しない神様のご計画③ローマ宣教の（ローマの帝国の霊的征服への）信仰的な準備でもあった

使徒16:6

マルコ1:14-15

IIIエペソ大騒動(2)

- 1、市の書記の裁定とローマの寛容
- 2、福音宣教の自由の確立
- 3、アジアの苦難 IIコリント1:8-11

⇒大迫害・パウロ・殉教 参)皇帝礼拝

①異邦人社会の偶像との本格的対決

②エペソの基本的価値と神殿崇拝

1)偶像都市 2)ご利益信仰 3)経済優先

③福音の宣教に伴い地域の基本的価値観と直面し福音化:福音による変容

マルコ5:9-17

IV結論・適用・祈り

- 1、エペソの宣教

①福音②聖霊③弟子訓練④広域宣教
⑤霊的対決→本格的迫害とその意味

2、エペソの大騒動ー地域の基本的価値観と福音の対立→偶像と繁栄

①東京:神/仏/近代主義:周辺の仏教施設/中心の神道儀式/天皇と基督

②皇居・靖国神社:先祖崇拝・太陽崇拝・自然崇拝→偶像と繁栄の都市

Iコリ1:18-25、マタイ10:34-42